

背景

- わが国では、都市部における道路渋滞、地方における交通サービスや移動サービスの縮小、さらにはドライバー不足の発生など、交通サービスに様々な問題が生じています。一方で、オンデマンド配車システムや自動運転等の交通サービスに関する新たな技術が進展するなど、これらの問題が解決する可能性のある取り組みの検討が進みつつあります。
- 広大な市域を持ち、国土縮図型都市である本市も、人口減少・少子高齢化を背景とした様々な課題に直面しています。市民の移動手段の確保、生活サービス（買物や医療等）の維持などは大きな課題であり、各種サービスとモビリティの連携による持続可能なまちづくりが求められています。
- まちづくりにおいては利便性だけでなく、暮らしやすさと幸福感を実感できるように、地域全体のWell-Beingを官民で高めていくことが必要です。
- また、近年は自然災害の激甚化・頻発化が進んでおり、南海トラフ地震の懸念も大きくなっている中、災害への対応も求められています。各種サービスにおいては、平時だけでなく、災害時の使用方法も検討し、迅速な対応が取れるよう備えておくことが重要です。

活かすべき本市の強み

- 多様な暮らし方や楽しみ方を可能にする環境（国土縮図型都市／交通至便）
- やらまいか精神や共助の心を持った企業と市民が共存
- ものづくり力（世界的な輸送用機器メーカーや楽器メーカ等の集積／スタートアップ・エコシステムグローバル拠点都市）
- 多様な文化背景を持つ市民が共に暮らす多文化共生都市
- 音楽のまちづくり（ユネスコ創造都市ネットワーク加盟）
- 多様な地形が育む多彩な食
- 全国トップクラスの健康寿命

構想推進の考え方

喫緊の課題への対応（アプローチ①）と、未来へのチャレンジ（アプローチ②）を組合せて取り組みながら浜松市の強みを最大化していきます。

市民協働で築く「未来へかがやく創造都市・浜松」
浜松市未来ビジョン実現への貢献

ヒト・モノ・コトをモビリティで“繋ぐ”ことで
浜松の強みを最大化

アプローチ②：未来へのチャレンジ

楽しみ、賑わいの増進
Well-Beingの向上に貢献

アプローチ①：喫緊の課題への対応

安全・安心な暮らしの確保
経済の活性化

重点分野

分野を横断してドローンの利活用や自動運転の可能性を検討

ウエルネス・医療・福祉

交通・物流

産業・観光

防災・安全

浜松市モビリティサービス推進コンソーシアム

目指す方向性（基本理念）

ヒト・モノ・コトをモビリティで“繋ぐ”と浜松の暮らしはもっと輝く

人口減少・少子高齢化で限られた資源（ヒト・モノ・コト）をモビリティで繋ぎ、持続可能な都市を目指します。

さらに、ヒトの移動にとどまらない価値を創出し、浜松での暮らしをより豊かにし、来訪者にとっての魅力も高めていきます。

必要な視点1 地域ごとの魅力の最大化

都市部から中山間地まで多様な暮らし方・楽しみ方ができる本市の魅力を市民・来訪者いづれにおいても最大化します。

必要な視点2 ともに支え、ともに創造

人々の移動や地域を“ともに支え”、様々なモビリティサービスを創出することでより豊かな暮らしを“ともに創造”します。

必要な視点3 しなやかに繋がる

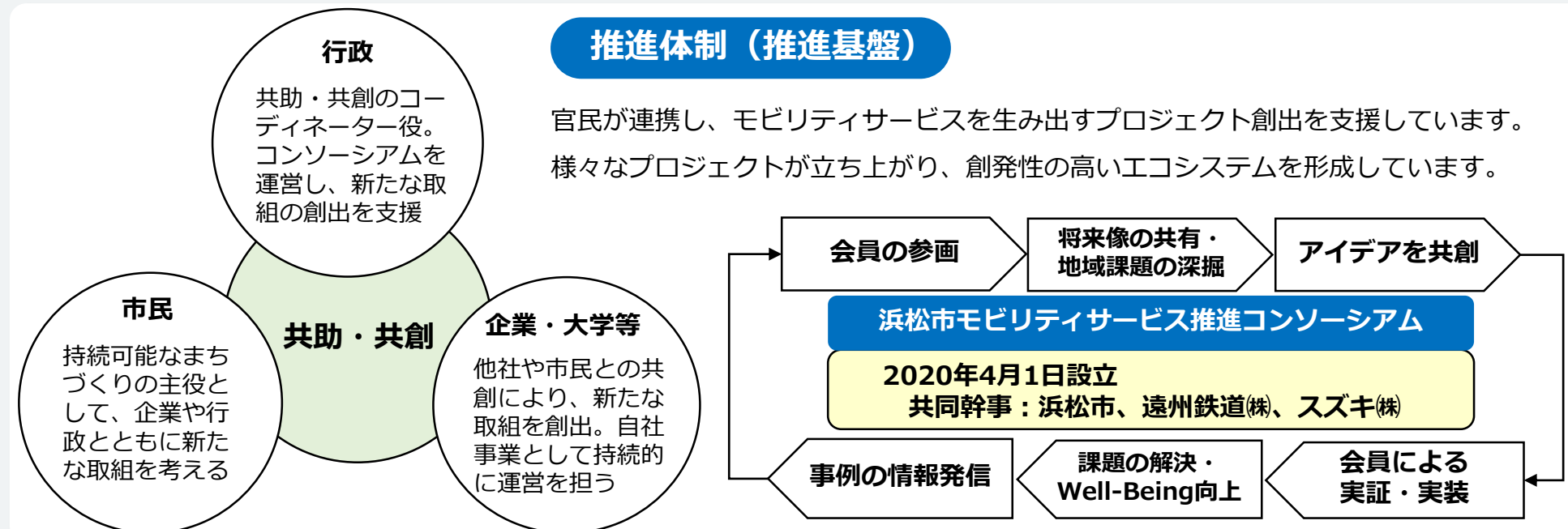
利用者目線のシームレスなサービスや、平時から有事の運用を想定したサービス・デザインなど、しなやかに繋がる地域を構築します。

必要な視点4 市民起点でのまちづくり

デジタルテクノロジーは手段として捉え、高齢者や子育て世代をはじめ多様な市民のWell-Beingを高めるサービスを発想します。

推進体制（推進基盤）

官民が連携し、モビリティサービスを生み出すプロジェクト創出を支援しています。様々なプロジェクトが立ち上がり、創発性の高いエコシステムを形成しています。



考えられるサービスのイメージ

未来へのチャレンジ

楽しみ、賑わいの増進 Well-Beingの向上に貢献

上空や水上を含めた交通・物流網の構築



陸上のみならず上空や海上、河川において利用可能なモビリティを用いた交通・物流網の構築

次世代モビリティの産業集積



新たなモビリティにおいても、ものづくり力を発揮できる環境を構築し、産業を集積する

交通利用に関わる省エネルギー化



移動に伴う温室効果ガス削減に繋がる電動車等の普及促進や交通網の整備

次世代パーソナル・モビリティの開発普及



まちなかや観光地の回遊性向上、免許返納者等の手軽な交通手段の確立

自動運転車や自動運転支援道の活用



公共交通の維持が難しい地域、免許返納者の増加、人手不足への対応として自動運転車や自動運転支援道を活用

モビリティを用いたエンターテインメント提供



ドローンショーや移動式の遊び場等、エンターテインメントを提供

喫緊の課題への対応

安全・安心な暮らしの確保 経済の活性化

移動販売や配送の地域内連携



食料品等、日常の買物が困難な地域における移動販売の促進や支え合いによるラストワンマイル配送の実現

医療サービスとモビリティの連携



住み慣れた地域で必要な医療を受けられるための取組（巡回診療、遠隔診療、遠隔服薬指導、ドローンによる薬剤配送等）

共助型地域交通の促進



公共交通の維持が困難な地域を中心に、住民が自家用車を用いて有償運送する共助型サービスの導入促進

移動や人流データの収集・活用



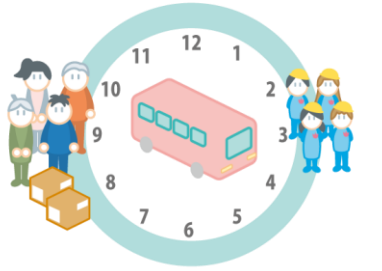
各種データの利活用により、交通安全・渋滞緩和対策を推進

誰もが使いやすい移動環境の整備



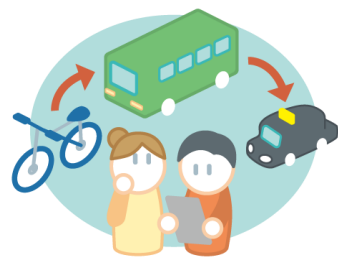
インバウンドも踏まえた誰もが使いやすいモビリティサービスや環境の整備

サービスの組み合わせによるモビリティ資産の稼働率向上



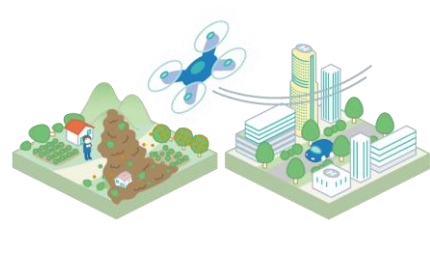
モビリティ資産の遊休時間帯活用や、貨客混載等の複合目的による利活用

様々な交通手段の連携による移動効率化



目的に合った最適な移動手段を選択可能とし、移動の効率化を促進

有事を見据えたサービス・デザイン



平時から有事の際に有効なモビリティ運用方法を確立し、災害による道路寸断時の孤立地域へ迅速な支援物資等の輸送を実現

観光や食資源との連携



観光施設や資源・体験、浜松パワーフードをはじめとする地場産品やグルメを繋ぎ、浜松の魅力を最大化し訴求効果を高める